

浦安鐵鋼団地景況実感調査結果表  
(平成24年7月分)

ご協力ありがとうございました。平成24年7月分の結果をお送りいたします。よろしくご査収ください。

調査対象 163社 回答 158社 回答率 96.9%

調査項目	前 月 比					計	前 年 同 月 比					計
	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況		10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況	
売上数量	23社 14.7% (8.0)	24社 15.4% (15.3)	65社 41.7% (32.7)	33社 21.2% (34.0)	11社 7.1% (10.0)	156社	18社 11.8% (9.5)	25社 16.3% (16.2)	53社 34.6% (27.7)	29社 19.0% (27.0)	28社 18.3% (19.6)	153社
売上高	16社 10.2% (6.6)	30社 19.1% (18.5)	61社 38.9% (29.8)	37社 23.6% (33.1)	13社 8.3% (11.9)	157社	13社 8.5% (7.4)	19社 12.4% (11.4)	54社 35.3% (22.8)	36社 23.5% (30.9)	31社 20.3% (27.5)	153社
在庫数量	3社 2.0% (3.4)	21社 13.8% (14.4)	78社 51.3% (52.7)	44社 28.9% (26.7)	6社 3.9% (2.7)	152社	9社 6.0% (7.6)	29社 19.3% (18.1)	64社 42.7% (40.3)	32社 21.3% (22.9)	16社 10.7% (11.1)	150社
販売単価	0社 0.0% (0.0)	4社 2.6% (2.7)	87社 56.9% (54.4)	59社 38.6% (39.5)	3社 2.0% (3.4)	153社	2社 1.3% (1.4)	12社 8.0% (4.9)	45社 30.0% (28.5)	63社 42.0% (46.5)	28社 18.7% (18.8)	150社
収益状況 (粗利)	9社 5.8% (3.3)	20社 12.8% (9.3)	69社 44.2% (36.7)	44社 28.2% (38.0)	14社 9.0% (12.7)	156社	11社 7.3% (4.1)	15社 9.9% (11.6)	53社 35.1% (31.3)	44社 29.1% (32.7)	28社 18.5% (20.4)	151社
稼働率 (生産・加工設備)	7社 5.4% (2.5)	20社 15.5% (13.3)	70社 54.3% (40.8)	23社 17.8% (32.5)	9社 7.0% (10.8)	129社	8社 6.3% (4.2)	16社 12.7% (15.3)	57社 45.2% (33.9)	27社 21.4% (29.7)	18社 14.3% (16.9)	126社
入出庫の トラック台数	6社 4.0% (2.8)	19社 12.7% (6.3)	84社 56.0% (51.0)	31社 20.7% (29.4)	10社 6.7% (10.5)	150社	8社 5.4% (4.3)	14社 9.5% (12.8)	74社 50.3% (34.8)	31社 21.1% (32.6)	20社 13.6% (15.6)	147社
	現在の景況感					147社	3ヶ月後の景況予測					147社
	0社 0.0% (0.0)	5社 3.4% (1.5)	53社 36.1% (38.7)	55社 37.4% (33.6)	34社 23.1% (26.3)		2社 1.4% (0.7)	32社 21.8% (20.4)	83社 56.5% (54.7)	28社 19.0% (20.4)	2社 1.4% (3.6)	
特記事項	今月も各品種の〔特記事項〕が数多く寄せられましたので、別送にてお知らせいたします											

- 注 ①調査対象会社数は浦安に事業所の無い会社（不在地主など）は除外してあります  
 ②( )内の数字は前月のパーセントです  
 ③結果表は全品種の動向として集計し、品種別の要因を取り上げる必要がある場合は  
 特記事項欄に別途記載いたします  
 ④本調査の宛先等の変更は、浦安鐵鋼団地協同組合事務局までご連絡ください  
 事務局 TEL：047-350-5311 FAX：047-350-5316

## 景況実感調査（7月） 特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適當な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

### 薄板・表面処理鋼板

- ① 引合い、見積りはあるが指値等が安過ぎる。海外メーカーの安値材もあり、更に価格が引き下げられる可能性がある。
- ② 東日本大震災後のスポット需要等の動きも止まり、受注環境は極めて厳しい状況にある。建築関連需要は地域間に差があり、被災地区の新築戸数は増加し始めているが、本格的予算執行にはもう少し時間が必要なようである。原材料価格の先安感と需要減退に伴って、益々買い控えが増幅されつつある。
- ③ 冷凍機関連の節電タイプへの切換え特需および震災復興関連のフォーミング製品の動きが好調。その他、建築関連も緩やかながら着実に動きが良くなって来ている。この流れはしばらく続く。したがって、市況も底値と見てよい。在庫については、更なる削減が必要。
- ④ 東鉄材の値上げに対して、輸入材の値下げで、各社様子を見ている。中国の鋼材市況の下落に歯止めが掛からず、供給過多が市況を押し下げているため、国内の価格も下落に転じている。
- ⑤ 前月と同様、閑散とした夏枯れ商況となっている。国内向けは、秋以降の復興需要が見えて来た分野もあり、今以上の落ち込みはないと感じられるが、海外の回復見込みが一向に立たず、原材料資源価格、製品価格いずれも明確な底打ちが見極められず、当然、鉄鋼製品の先安懸念が相場感を悪くしている。新日鉄とトヨタの値下げ決着も悪材料となった。住宅、非住宅を問わず、太陽光発電関連は盛り上がっている。

### 中板

- ① 荷動きは総じて低調で推移。東鉄の一部値上げもマーケットに動意はなく、需要低迷が続く中、価格は弱含み。採算割れが続いており、各流通の価格見直しに期待する。

### 厚板

- ① 建材分野全体の基調は前月と比べて変わらないが、当月は鉄骨の切板が瞬間的に集中したため、数量的には増加した。足下、土木分野でそこそこの仕事量は見込めるが。期待する橋梁が今年度に入って、相当低レベルの発注に止まっており、厳しい環境が続いている。市況は、建材マーケットが低調なことから上昇力は弱く、収益的にも厳しい状況であることに変わりはない。

### — 舟安开金岡

- ① 復興関連工事等の公共部門は先行きが見えているが、大きい再開発が見えていない。
- ② 3月中旬以降、月を追って低迷続けた荷動きは、7月に入ったとたん好転し、塗炭の苦しみから解放された。民間の小口物件、同設備の更新需要の用途が多いと思われる。したがって、盛り上がるような荷動きの回復を期待すべきでない。

## HI形鋼

- ① 7月後半から荷動きが徐々に良くなり、極端な安値も姿を消し、現状、回復基調になって来た。8月は実働日数も少なく、今月いっぱい現状維持か。
- ② 需要は少し回復しているようだが、市況に対するインパクトになっていない。やはり、需要不足であり、在庫も多く、売り先行の状況は変わっていない。

## 異形棒鋼

- ① 関東メーカーも下げ止まり、鉄源も少し上がり、東鉄の在庫販売価格も上がってきている。動きも低位ながら良くなって来ている。価格についてもエキストラ等も高くなっているため、しっかりして来ている。
- ② 市況下落に対応する中、当用買いの小口販売が久しぶりに増加。悪いなりに、荷動きは若干回復と見える。

## 平鋼

- ① 荷動きが悪い中で、僅かではあるが回復した。価格は、下落が落ち着きつつあり、底値が見えた。

## 鋼管

- ① 7月は、月初・中盤が低調、締めてみたらそこそこ出来たという状況だった。市況はジワジワ弱くなっている。
- ② 4～6月より上向くと予想している7～9月だが、大変厳しいスタートとなった。

## 構造用鋼

- ① 需要動向は、自動車関連については足下堅調だが、エコカー補助金終了後の反動により、下期は減少予想となっている。建設機械関連については、中国等の減速により、生産計画の下方修正が行われており、今後、更に不透明な状況となっている。一方、仲間売り等の店売りの荷動きは変化なく、低位横這いの状況が続いている。市況については、荷動きが低調なこともあり、ジリ安基調が続き、下落傾向である。
- ② 前月に比べさほど荷動きに変化がないものの、安値の争奪戦やコストダウン要請が散見され、益々不透明感を募らせている。

## その他

### <曲げ加工>

- ① 例年7月はやや好況だが、昨年同月とほとんど変わらず、先月に比べればやや増加だが、努力はするものの、なにせ経済状況が悪いが故に、今一段伸び悩んでいる現状である。今後、市況が良くなってもらいたいものだが、先行きは不透明である、

### <金属表面処理加工>

- ① 7月は物件物、紐付き材について、納期遅れがあり次月へスライドするも、緊急対応案件があり、扱い量としては計画通りとなる。スポットは前月以上に引合い、成約も活発に推移。8月も物件物、紐付き材とも受注が確定していることから安定操業で推移する予定である。